



やりたいイロイロ。トリダイで叶える。

鳥取大学 総合型選抜ガイド

2023





総合型選抜とは？

鳥取大学は、「知と実践の融合」を教育理念に掲げ、
教養豊かな人材の養成や地域社会の産業、
 文化等への寄与を教育目標にしています。
 このため、入学者選抜においても、総合型選抜を採用し、
多様な才能を持った意欲ある人を選抜します。

● 日程＜予定＞

※日程は【鳥取大学入学試験情報】でご確認ください。



● 入試データ 鳥取大学総合型選抜(AO入試)実施状況 ※2022年度、2021年度の過去2年間。※()内は女子の内数で示す。

学 部	学科等	2022年度入試				2021年度入試			
		募集人員	志願者数	第1次選考 合格者数	第2次選考 合格者数	募集人員	志願者数	第1次選考 合格者数	第2次選考 合格者数
地域学部	地域学科地域創造コース	10	29 (12)	24 (12)	11 (7)	10	36 (19)	24 (17)	10 (6)
	地域学科人間形成コース	4	14 (19)	8 (6)	5 (4)	4	25 (19)	12 (12)	3 (3)
	地域学科国際地域文化コース	5	8 (11)	7 (6)	5 (4)	6	15 (11)	11 (10)	5 (5)
	計	19	51 (42)	39 (24)	21 (15)	20	76 (49)	47 (39)	18 (14)
工学部	社会システム土木系学科	2	4 (1)	4 (1)	1 (0)	2	7 (1)	7 (1)	2 (1)
	計	2	4 (1)	4 (1)	1 (0)	2	7 (1)	7 (1)	2 (1)
農学部	生命環境農学科	12	37 (14)	24 (12)	13 (7)	10	49 (28)	24 (17)	10 (9)
	計	12	37 (14)	24 (12)	13 (7)	10	49 (28)	24 (17)	10 (9)
総 計		33	92 (57)	67 (37)	35 (22)	32	132 (78)	78 (57)	30 (24)

総合型選抜 第1次選考のポイント

2022年度総合型選抜がどのように行われたかについて、第1次選考のポイントを示したものです。
2023年度入試が、次のように行われるということではありませんので、ご注意ください。



書類選考

出願書類の志望理由書、自己推薦書、調査書を審査しました。志望理由書と自己推薦書からは、「学科・コースへの意欲関心や志望動機」、「高校等での活動歴」、「文章の表現力」を中心に評価しました。

志望理由書の資格・検定等と調査書からは、資格取得の内容、特記事項の記載事項を中心に審査し、英語に関する一定以上の資格等についても評価しました。

なお、「志望理由書」、「自己推薦書」について、従来は所定の様式をダウンロードして、A4サイズで印刷後、志願者本人の直筆により記入しておりましたが、2023年度入試からインターネット出願システムに入力する形式に変更予定です。



個人面接

2名の面接官による、1人あたり15分の面接を行いました。志望理由書から、どのようなことを大学で学びたいのか、なぜ本学学部・学科・コースを志望するのか、学びたい学問の興味関心がより深いのか、大学卒業後に何をしたいか、それらについてより詳しく、具体的な説明を求め、質問内容を正しく理解しているか、その回答は自分でよく考え、論理的かつ明確に表現できるかということを中心に評価しました。

自己推薦書から自分の強みは何か、学校生活で力を入れて取り組んだことは何かについて、具体的に説明してもらい、質問への明確な受け答えができるかも含めて評価しました。

●選抜方法と求める能力の関連

選抜方法	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・協働性
1次(調査書)	○		○
1次(志望理由書、自己推薦書)	○	○	○
1次(面接)		○	○

総合型選抜第1次選考は自宅や学校が試験会場です！

鳥取大学では、2005年度入試より、鳥取以外、東京、名古屋(2019年より)、大阪、岡山、福岡にも会場を設けて、対面による第1次選考(個人面接)を行ってきました。

2021年度入試では、新型コロナウイルス感染症のまん延により個人面接を中止しましたが、2022年度入試は、オンラインで個人面接を実施しました。Web会議システムの「Zoom」を使用して行いました。志願者に用意していただいたのは、ビデオ通話が可能な機器(PC、タブレット、スマートフォン)、それらの機器に接続可能なマイク、Webカメラ及びイヤホン(ヘッドセット)と静穏な環境で受験できる場所でした。

個人面接の数日前には、志願者全員と事前に接続テストを実施しました。これで初めてWeb会議システムを使う人も安心して受験をしていただきました。

また、面接試験時間中には、第三者が入室しないこと、メモや録音、録画をしないことなど、いくつかの禁止事項を設けて公平な試験の実施を行いました。すべての受験生が問題なく個人面接を実施できました。

このように鳥取大学の総合型選抜第1次選考では、会場への移動のために時間や費用がかからず、慣れた場所で受験をすることができます！



地域学科 地域創造コース

募集予定

10人

わたしの
AO入試
(現 総合型選抜)



地域の現場に出て、実践的な学びに取り組みたい!

行政に興味があり、高1の頃から地域系学部のある大学を進学先に考えていました。当初は関東圏の国公立大学を考えていたけど、鳥大地域学部は「地域調査プロジェクト」など地域の現場で実習する機会が多く、地方大学ならではの魅力が満載。自分の興味・関心、学力や得意科目などもマッチしていたし、母の故郷で毎夏訪れていた場所ということもあり、第1志望に決定。生徒会活動など高校生活で取り組んだことを武器するのが一番確率が高いと思い、AO入試で臨むことにしました。志望理由書・自己推薦書の添削、1次面接の練習は主に担任の先生にお願いしました。AO入試は1人で対策できないことが多いので、周囲の力を頼ることが成功の秘訣ですね。

受験に役立つヒントは新聞・行政広報誌等をチェック

2次のスクーリングは「町内会」がテーマ。予想もしないテーマでしたが、祖母が民生委員をしており、自治会活動にも積極的だったので、自分なりの考えを展開できる糸口はすぐに見つかりました。どんなテーマが出るか分からないので、新聞・ニュース等を毎日チェックする基本対策は不可欠。行政の広報誌も併せて読むといいヒントになりそうですね。グループディスカッションは、当日初めてワールドカフェ方式のことを知るという無謀な状態でしたが、「攻撃的に話さない」「相手の意見を尊重する」「聞く姿勢を大切に」というセオリーさえ守れば問題なし。個人面接では厳しい質問を受けて一瞬ひるんだけど、ありのままの自分で答えることで乗り切りました。

4年

あめみや ゆうき

雨宮 優希 さん (神奈川県立麻溝台高等学校 出身)

MY
FAVORITE
"TOTTORI"

日々の疲れが癒される名湯ぞろい

私が暮らしている「吉岡温泉」をはじめ、隣町の「鹿野温泉」、県中部の「三朝温泉」「関金温泉」など、鳥取県は温泉天国! 一日の疲れがとれるんですね。

全文は
Webで!



第2次選考

選抜のポイント、面接・論文等の出題例等

- 2022年度総合型選抜がどのように行われたかについて、学部・学科・コースの募集単位別にポイントや出題例を示したものです。
- 2023年度総合型選抜が下記のように行われるということではありませんので、ご注意ください。

全体を通して
求める力

自らの地域の発展に貢献できるキーパーソンに成長するための、地域の諸問題への高い関心や行動力、あるいは問題解決に取り組むユニークな発想力とリーダーシップなどが求められます。

スクーリング	講師(1名)が「資源としてのサメ」についての講義(70分)を行い、その後、受験者との質疑応答(20分)を行いました。
課題論文	スクーリングの内容に関連した設問(2問)に90分で解答するものでした。設問の内容は、スクーリングの内容を400字で要約するもの(問1)と、資源としてのサメの利用・管理の主体と方策を考えて600字以内で記述するもの(問2)でした。
グループ ディスカッション	8人ずつ3グループに分かれ、1グループあたり45分で討議を行いました。テーマは「地域資源を活用した地域活性化の方策を考える」で、スクーリングの内容をふまえつつ、一つ選んだ地域資源を活かして地域活性化を行うには、地域性を踏まえたどのような取り組みが必要なのかを、グループで議論しました。
個人面接	3名の試験委員による、1人あたり20分の面接を行いました。

●選抜方法と求める能力の関連

選抜方法	知識・技能	思考力・判断力	表現力	主体性・協働性	創造性
2次(書類審査)	○	○	○	○	○
2次(スクーリング)	○	○	○	○	○
2次(課題論文)	○	○	○	○	○
2次(グループディスカッション)	○	○	○	○	○
2次(面接)	○	○	○	○	○

地域学科 人間形成コース

募集予定

4人

わたしの
AO入試
(現 総合型選抜)



候補に入っていなかった鳥大と運命の出会い!?

地元・広島県内を中心に、教員免許を取得できる国公立大学への進学を考えていた私。ところが高3の7月、担任の先生から「1週間後に鳥大のオープンキャンパスがあるよ。AO入試も考えてみたら?」と驚きの提案が! 恐る恐る訪れてみると、緑が多く広々としたキャンパスがステキだし、特別支援学校の免許も取得できると分かりました。AO入試は不安でしたが、2次選考では小論文、口頭発表、グループディスカッション、個人面接と、自分を見てもらえる場が4つもあるのでチャレンジすることに。

1次面接の対策はまず、一般的な質問に対する自分の答えを書き出すことから。すると曖昧だった部分が言語化され、予想外の質問にも対応できるようになりました。

事前対策も本番も、独自の工夫と柔軟な対応でクリア

2次の小論文は書き方のコツを頭に入れ、教育関係の知識を増やすなどして対策。得意科目なので、本番は力を出し切ることができました。予想外だったのは口頭発表。小論文の内容に沿ってプレゼンするのだと思っていたら、4つのテーマから1つを選ぶというものだったんです! 一瞬頭が真っ白になりました。でもすぐに切りかえて、関連するキーワードをいくつか挙げ、それらをつなぎながらプレゼンすることでピンチを脱しました。

最も苦手なグループディスカッションは、あまり発言できず手応えなし。でも逆に、個人面接は最後の挽回チャンスだから、「伝えたいことは全部伝えよう」という強い心で臨みました。最後まで諦めないことが大切ですね。

4年

にしおか ひろの

西岡 寛乃さん (広島県立安古市高等学校 出身)

MY
FAVORITE
"TOTTORI"

開放感あふれる「鳥取砂丘」

鳥取といえば、やはり「鳥取砂丘」。一面砂の大パノラマで開放感抜群! 「馬の背」と呼ばれる大きな丘陵を上れば、今度は青い日本海の眺望が、サイコーの気分になりますよ。

全文は
Webで!



第2次選考

選抜のポイント、面接・論文等の出題例等

- 2022年度総合型選抜がどのように行われたかについて、学部・学科・コースの募集単位別にポイントや出題例を示したものです。
- 2023年度総合型選抜が下記のように行われるということではありませんので、ご注意ください。

全体を通して
求める力

地域教育のキーパーソンをめざすために必要な、確かな基礎学力、柔軟で創造的な思考力と表現力、他者と協働して問題解決する力を求めます。

小論文	小論文は2つの設問で構成しました。設問1では、子ども期の歴史に関する英文を出題文としました。文章のなかの下線を和訳する力をみる1問と、内容を要約する力をみる1問を課しました。設問2では、SDGsに関する論考を出題文としました。著者の主旨を読み解く力をみる1問と、サステナブルの意味を掘り下げて考える力をみる1問を課しました。試験時間は120分でした。
口頭発表	口頭発表では一人20分程度、小論文での回答を基に、論じられた主張に対して追加的な説明を求めました。併せて、地域の持続性に関する考えを尋ねました。
グループディスカッション	グループディスカッションは東京オリンピック・パラリンピックの理念を示した資料をもとに、スポーツに限らず共生社会を実現するには、どうすればよいか、2つのグループに分かれて話し合い、各グループで意見をまとめて発表し、グループ間で質疑応答を行いました。試験時間は90分でした。
個人面接	個人面接では、一人20分程度、人間形成コースを志望する理由やこれまで注力してきたこと、将来展望などについて尋ねました。

●選抜方法と求める能力の関連

選抜方法	知識・技能	思考力・判断力	表現力	主体性・協働性
2次(小論文)	○	○	○	
2次(口頭発表)		○	○	○
2次(グループディスカッション)		○	○	○
2次(個人面接)	○	○	○	○

地域学科 国際地域文化コース 募集予定 5人

わたしの
AO入試
(現 総合型選抜)



故郷を元気にしたいから、もっと地域学を学びたい

高校の「地域探究」という専門科目で、私は地元集落の魅力を発信するプロジェクトに取り組みました。約30年前に造られた彫刻公園のことを調べてパンフレットを作成し、地域の人に伝えようというもの。これをきっかけに「地域学が学びたい」という思いが芽生えました。私の姉も同じ学科に進学しており、自然と鳥大を第1志望に選んでいました。

願書は先生に添削していただき何度も書き直し。姉からも「この部分は自己推薦書に書いて、浮いた文字量で志望理由をもっと膨らませて」とアドバイスが。書く内容によっては、志望理由書と自己推薦書の両方に通じるものがあるから、どちらに書けば思いがより伝わるのかを考えながら構成するのは一つのポイントですね。

量より質、テーマに沿った自分なりの意見を大切に

地域学の本を読んで知識を広げ、専門用語について調べて説明できるようにしておくという対策は、入試の間ずっと継続。また、面接の想定問答もたくさん考えて練習しました。グループディスカッションは「ジェンダー」がテーマ。私は深く考えたことのない分野だったけど、周りの人は知識が豊富で、たくさん発言していたので焦りました。でも振り返ってみれば、大切なのは知識や発言の多さではなく、自分の考えを簡潔に話すことだったと思います。入学までに取り組む「eラーニング」は、鳥大から与えられる最初の課題です。「ここで手を抜くと、その後の大学生活も同じようになってしまう」と思い、最後までやり遂げました。新生活への良いスタートとなりました。

4年

こばやし えみか

小林 笑果さん (兵庫県立村岡高等学校 出身)

MY
FAVORITE
"TOTTORI"

鳥取愛にあふれた街と人にほっこり♪

鳥取の市街地にはゆったりできるお店がいっぱい。私のお気に入りには高齢女性が営むコーヒー専門店です。昭和レトロな雰囲気と、鳥取愛を感じるお話とお茶でほっこりしました。

全文は
Webで!



第2次選考

選抜のポイント、面接・論文等の出題例等

- 2022年度総合型選抜がどのように行われたかについて、学部・学科・コースの募集単位別にポイントや出題例を示したものです。
- 2023年度総合型選抜が下記のように行われるということではありませんので、ご注意ください。

全体を通して
求める力

文化、地域、国際交流など地域と文化に関する分野に関心があり、他者の話によく耳を傾けて理解しようとする姿勢や深く考えを掘り下げる姿勢、それらを分かり易く表現する力を求めます。

グループ ディスカッション	人種や「肌の色」をめぐる差別をテーマとする資料4点(A4版6枚)を読んだのち、無自覚・無意識の差別の問題を解消していくためには何が重要か、1グループ7名で140分間のグループディスカッションを行いました。進行は教員が行いました。
課題論文	個人のアイデンティティにおける「分人」という概念を論じたエッセイ(A4版3枚)を読み、90分で設問(2問)に解答するものでした。設問の内容は、著者の主張をまとめるもの(200字以内)、および「分人」という概念の長所・短所を指摘した上で、「自己の多様性」に対する受験生自身の考えを、具体例を挙げて論述するもの(800字以内)でした。
個人面接	3名の面接官による、一人あたり15分の面接を行いました。

●選抜方法と求める能力の関連

選抜方法	知識・技能	思考力・判断力	表現力	主体性・協働性	創造性	思考の柔軟性
2次(グループディスカッション)	○	○	○	○		○
2次(課題論文)	○	○	○		○	
2次(面接)		○	○	○	○	

社会システム土木系学科

募集予定

2人

わたしの
総合型選抜

災害で気付いた、地域インフラを守る土木学の重要性

私が土木の分野を学びたいと強く思うようになったのは、2018年7月に発生した西日本豪雨災害がきっかけです。自宅のすぐ近所まで浸水被害が迫る中、土木関係の仕事に携わる父は出かけ、地域のインフラを守るため一晩中働いていました。私も少しでも人の助けになるようなことがしたいと思い、鳥大工学部を目指すことにしました。推薦入試も視野に入れつつ、まずは総合型選抜に挑戦しようと、高2の5月には決めていました。その夏に参加したオープンキャンパスでは、砂防ダムの構造に関する研究を見せていただき、受験へのモチベーションがアップ！また、女子高生のための説明相談会もあり、AO受験された先輩からお話を聞いたのが良かったです。

新聞は毎日チェック、幅広い知識＋多角的な視野で

願書作成と並行して1次面接の練習も進めていたけど、コロナ禍により中止となり、1次選考は願書のみで判定されることに。直接自分の口で伝えられない分、願書に思いを込めて、伝えたいことを全て書き込みました。2次の小論文は過去問題を使って練習。毎日新聞を読み、気になる記事を見つけたらノートに張り付け、自分の意見を書くことも。1つの意見に凝り固まらず、違う角度から見た意見も考えるようにと先生から良いアドバイスをもらったので実践しました。2年次からは専門科目が増えます。土木のコースへ進むなら力学が重要になってくるので、基礎となる部分をきちんと身に付けようと勉強中。災害に強い橋の研究ができるよう、これからも頑張っていきます！

2年

しばた かほ

柴田 佳歩さん（岡山県立勝山高等学校 出身）

MY
FAVORITE
"TOTTORI"

自然豊かな風景ときれいな夕日

家の周りを散歩しながら眺める、鳥取の自然豊かで素朴な風景は私の癒しになっています。鳥大からほど近い「湖山池」のほどりで見る夕日はとてもきれいで、心が落ち着きます。

全文は
Webで!

第2次選考

選抜のポイント、面接・論文等の出題例等

- 2022年度総合型選抜がどのように行われたかについて、学部・学科の募集単位別にポイントや出題例を示したものです。
- 2023年度総合型選抜が下記のように行われるということではありませんので、ご注意ください。

全体を通して
求める力

社会システム土木系学科では、工学に関わる専門的な知識とともに、社会のしくみに関わる幅広い知識を持ち、安全で安心な社会の構築に貢献できるエキスパートの育成を目指しています。数学・理科の力とともに、高校時代に履修できるあらゆる科目や活動を通じて積極的に学び、社会のさまざまな課題について多面的にとらえるための幅広い教養を養ってください。

講義等理解力試験	講師(1名)が、本学科の教育内容や研究内容に関する講義(90分)を行い、その後、講義内容に関する筆記試験(60分)を行いました。
小論文	わが国のデジタル改革を推進するために、2021年9月1日、内閣にデジタル庁が設置されました。この背景には、わが国ではデジタル化が遅れている一方、未来の社会づくりにはデジタル化が不可欠であることがあげられます。また、このような内閣の動きにとどまらず、行政、民間を問わずあらゆる組織もデジタル化が必要と言われており、様々な取り組みが進んでいます。以上のような社会の動向に関して、「わが国ではなぜデジタル化が遅れたのか」「未来の社会づくりになぜデジタル化が不可欠なのか」の二点についての考えを述べるとともに、住みやすい都市や地域を実現するために、どのようなデジタル化の取り組みがありうるのかを60分間で論述するものでした(800字以内)。
個人面接	4名の面接官による、1人あたり15分の面接を行いました。
口頭試問	3名の試験官による、1人あたり15分の個人試問を行い、基礎学力(数学、英語)を確認しました。

●選抜方法と求める能力の関連

選抜方法	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・協働性
2次(講義等理解力試験)	○	○	
2次(小論文)	○	○	
2次(面接)		○	○
2次(口頭試問)	○	○	

2023年度入試から「講義等理解力試験」に代わり、「プレゼンテーション」を実施します。プレゼンテーションの課題や実施方法等の詳細は、第1次選考合格者に、第1次選考の合格通知と共に文書で連絡する予定です。プレゼンテーションは5分程度で行っていただき、その後、質疑応答を行う予定です。

生命環境農学科

募集予定

12人

わたしの
AO入試
(現 総合型選抜)



乾燥地農業や海外実習、やりたいことが詰まった鳥大

小6の時、父と旅行したネパールで3歳ぐらいの男の子に物乞いされた経験から、開発途上国の貧困問題に気付きました。また、アフガニスタンで医療活動に尽力した医師・中村哲先生の著書を読み、乾燥地農業にも関心が。鳥大には私の学びたい科目や海外フィールド演習といった実践的な授業があり、そこに大きく惹かれて志望しました。

高3の夏休みは願書づくりに集中。いきなり文章を書くのは難しいので、まずは伝えたいことを箇条書きにし、そこに肉付けしていく形で書き進めました。面接練習で役に立ったのが「面接対策ノート」。ただの小さな大学ノートですが、練習でうまく答えられなかった質問をメモ、それに対する回答を書くなどして本番に備えました。

論文に書いた内容は、面接でも答えられるようにしましょう

2次選考の課題論文は、具体的な体験談が入ると説得力のある内容になります。ただし、内容について2次の個人面接で尋ねられる場合が。質問されることを意識しながらまとめることも大事だと思います。私は論文を書き上げたことに満足して終わっていたので、面接で詳しい説明を求められたときは慌てました。グループディスカッションでは進行・記録・タイムキーパーといった役割分担があったのですが、私たちのグループは進行役の人がタイムキーパーも抱えてしまい、ちょっとぐだぐだに。役を担うことは自己アピールにつながりますが、できないと思ったら無理は禁物。場の雰囲気も大切にしながら、みんなで活発に意見を交わし合うことが何より大切ですね。

3年

ふきはる

吹春 やよいさん (福岡県立輝翔館中等教育学校 出身)

MY
FAVORITE
"TOTTORI"

爽やかな甘さの「二十世紀梨」

鳥取県の農作物はどれも特徴的で美味しいものばかり！中でも私が好きなのは、シャキッとした食感の「二十世紀梨」。爽やかな甘さで、いくらでも食べられるんですよ。

全文は
Webで!



第2次選考

選抜のポイント、面接・論文等の出題例等

- 2022年度総合型選抜がどのように行われたかについて、学部・学科の募集単位別にポイントや出題例を示したものです。
- 2023年度総合型選抜が下記のように行われるということではありませんので、ご注意ください。

全体を通して
求める力

生命環境農学科では、自ら積極的に学び、傾聴力と協調性を持って学んだことを実践で応用できることを重視しています。高校時代に履修できる、あらゆる科目を積極的に学び、知力、体力、コミュニケーション力、気力、実践力の基礎を養ってください。

課題論文	「自主的、自発的に学ぶためには、何が大切だと考えますか。あなたの経験を踏まえて、具体的に1,000字程度で述べてください。」という課題について記述するものでした。
グループディスカッション	「近年、日本は国際競争力や発言力が低下し、相対的に貧しい国となりつつあります。日本が抱える問題のうち皆さんが最も深刻であると考えられる問題を示してください。また、その問題を解決するために、若い世代、特に大学生はどのような取り組みをするべきなのかをまとめてください。」というテーマについて、グループディスカッションを行いました。
個人面接	3名の面接官による、1人あたり25分の面接を行いました。また、基礎的な英語についても試問しました。

●選抜方法と求める能力の関連

選抜方法	思考力・判断力	表現力	主体性	協働性	農学の課題解決に対する意欲
2次(課題論文・面接)	○	○	◎		◎
2次(グループディスカッション)			○	◎	

入学前 教育

Webでの研修

e-ラーニング

鳥取大学では2004年度のAO入試(現:総合型選抜)合格者、推薦入試Ⅰ(現:学校推薦型選抜Ⅰ)合格者に対して合格直後に、2泊3日の「合宿研修」を含む入学前教育を行っています。

コロナウイルス感染拡大防止の観点から、2021年度入試合格者以降、Webを利用した研修に変更しました。Web研修ではZoomアプリを利用し、合格者が自宅などからパソコンやスマートフォン、タブレットを使って受講しました。

入学前教育研修のプログラム内容は、2泊3日の合宿研修と比べて少なくなったものの、入学前教育を行う意義や使用する教材の利用方法についての説明を行いました。また、合格者の自己紹介の

時間や在学生との交流の機会も設けました。在学生と合格者の交流では、Zoomのブレイクアウトルームを使って、合格した学科やコースごと、在学生1名と合格者1~7名のグループに分けました。合格者が在学生に質問などをして大学生活の不安を解消するとともに、先輩や同級生とふれあうことで合格後のモチベーションを保ち、大学生活へのスムーズな導入に向け、サポートしました。

研修後は、e-ラーニングを活用して学習習慣の継続を促しました。

さらに、2月には、学校推薦型選抜Ⅰ合格者と合同で、2回目のWeb研修も実施しました。



この研修では、主に今後の学習面での指針や生活面での注意点などを中心に大学生になるための心構えを学ばせていただきました。早く受験が終わっても勉強するというのはあたりまえで、さらにその先の展望をどれ程見つめられるかを考えるいい機会になったと思います。特に、在学生の方達との質問の場や同じ学科の方達の挨拶などは、少し早く合格した私たちだからこそ経験することのできた本当に貴重でかけがえのないものだったと思います。



今回の研修を受けて、合格できたからこそできることがあるし、やらなければいけないことがあるのだということを感じました。合格してから勉強は続けていましたが前よりも集中できず、上手く身が入らない状態でした。しかし、大学に入ってからのことを考えて、まだまだ勉強は続けなければいけないし、そのために学習習慣が無くならないように、そして一般選抜で入ってきた人たちに大きく引き離されないように勉強するという目的をはっきりさせることができました。

2022年度 総合型選抜合格者入学前教育研修(第1回)のタイムテーブル

内容	11月13日(土)
入学センター長あいさつ	13:00~13:05
研修プログラムの説明(入学センター教員)	13:05~13:55
合格者自己紹介	13:55~14:40
休憩	14:40~14:50
在学生と合格者の交流(ブレイクアウトルームに分かれる)	14:50~15:50
諸連絡(入学センター教員から) 在学生からの言葉(在学生1名ずつ)	15:50~16:15
個別質問への対応	16:15~16:30

工学部社会システム土木系学科では、入学後の指導の参考にするため、次に指定した大学入学共通テスト3教科5科目について、可能な限り受験して、自己採点の結果を報告することになっています。

数 学: 数学Ⅰ・数学A(必須)と[数学Ⅱ・数学B、簿記・会計、情報関係基礎]から1
理 科: 物理(必須)と[化学、生物、地学]から1
外国語: 英語(リスニングを含む)

鳥取大学 総合型選抜 入学者出身校

鳥取大学総合型選抜では、全国各地の高等学校から入学者を迎え入れています。

福岡県

糸島
宇美商業
大牟田
春日
輝翔館
九州国際大学付属
築上西
福岡工業大学附属城東
八幡

佐賀県

伊万里
佐賀清和

長崎県

杵岐
諫早農業
大村
海星
上五島
五島

五島海陽
佐世保西
長崎南山
長崎西
猶興館

熊本県

天草
熊本
熊本西
第二
人吉

大分県

大分鶴崎
大分東明
情報科学
日田
別府翔青

鹿児島県

大島
鹿児島南
甲南
志布志
川内

武岡台
徳之島
屋久島
与論

宮崎県

五ヶ瀬
高鍋
日向
宮崎北
宮崎西

沖縄県

首里
那覇西

南風原
与勝

読谷

広島県

盈進
大崎海星
加計
祇園北
呉宮原
西条農業
上下
庄原実業
世羅

忠海
日彰館
広島県瀬戸内
広島国泰寺
広島皆実
三原
安古市
湯来南

島根県

大田
隠岐島前
川本
宍道
大社
浜田
松江工業
松江市立女子
松江東
松江南
三刀屋
矢上

鳥取県

青谷
岩美
倉吉北
倉吉工業
倉吉総合産業
倉吉西
倉吉農業
倉吉東
境

青翔開智
鳥取敬愛
鳥取工業
鳥取湖陵
鳥取商業
鳥取城北
鳥取中央育英
鳥取西
鳥取東

鳥取養護
鳥取緑風
八頭
湯梨浜
米子
米子工業
米子松蔭
米子西
米子東

山口県

華陵
田布施農業
防府商工

岡山県

井原
岡山一宮
岡山学芸館
岡山県作陽
岡山県美作
岡山城東
岡山大安寺
岡山東商業

岡山芳泉
岡山理科大学附属
邑久
落合
笠岡
勝山
倉敷天城
倉敷古城池

倉敷南
西大寺
山陽女子
就実
清心女子
総社
高梁
玉島(県立)

玉野
玉野光南
津山
津山工業
津山東
新見
林野
備前緑陽

真庭
明誠学院
矢掛
弓削

愛媛県

今治北
今治東
宇和島東
大島
川之石
川之江
小松
西条
済美
新居浜西

新居浜東
新田
伯方
松山工業
松山西
松山南
三島
南宇和
八幡浜
弓削

徳島県

池田
小松島
城ノ内
徳島科学技術
徳島北
富岡東
那賀
鳴門
美馬商業

香川県

高松東
高松南

高知県

高知北

※2004～2020年度入試までの鳥取大学AO入試および、2021～2022年度

鳥取大学総合型選抜入学者出身高等学校名です。(都道府県別五十音順)

※高等学校名は出願時の名称です。

※各学校名の後の「高等学校」「中等教育学校」等を省略しています。

長野県

木曾山林
塩尻志学館
篠ノ井
下伊那農業
須坂園芸
諏訪二葉
白馬
松本工業
丸子修学館

富山県

富山南
入善
伏木

福井県

羽水
啓新
北陸

岐阜県

大垣南
加茂農林
岐阜山
岐阜農林
中津
羽島北
吉城

愛知県

安城農林
犬山南
新城東
大成
中部大学第一

静岡県

科学技術
静岡北
静岡県富士見
聖隷クリストファー
浜松南
富士宮北
吉原

北海道

クラーク記念国際
札幌開成
札幌西陵
札幌南
登別朝日

青森県

三沢

宮城県

仙台東
仙台向山

福島県

田村

栃木県

宇都宮東

埼玉県

自由の森学園
筑波大学附属坂戸

群馬県

大泉

茨城県

藤代

東京都

郁文館グローバル
科学技術
多摩科学技術
東京大学教育学部附属

神奈川県

麻溝台
相模大野
洗足学園

千葉県

千葉黎明

京都府

桂
北桑田
北嵯峨
京都学園
工業
須知
塔南
東舞鶴
福知山
紫野
桃山
洛西

大阪府

芦間
阿倍野
園芸
扇町総合
大阪
大阪学芸
大阪産業大学附属
大阪女学院
大谷
開明
関西大倉
北千里

清風
千里国際学園高等部
帝塚山学院泉ヶ丘
農芸
能勢
PL学園
東住吉
枚方
都島工業
早稲田摂陵

滋賀県

八幡
八幡商業
米原

奈良県

五條
桜井
青翔
高田商業
天理
十津川
登美ヶ丘
西の京

兵庫県

明石城西
明石南
赤穂
尼崎小田
尼崎北
有馬
伊川谷
出石
伊丹(県立)
伊丹北

加古川西
香住
上郡
近畿大学附属豊岡
賢明女子学院
甲子園学院
神戸商業
神戸西
琴丘
佐用

三田祥雲館
淳心学院
須磨学園
太子
宝塚西
滝川
滝川第二
龍野
龍野実業
千種

西宮北
西宮東
西脇
日生学園第三
農業
浜坂
播磨農業
東播磨
雲雀丘学園
姫路

姫路工業
姫路飾西
姫路商業
兵庫県立大学附属
福崎
北条
北摂三田
御影
三原
武庫荘総合

村岡
夢野台
六甲学院
和田山

和歌山県

海南
橋本
南部

三重県

上野
宇治山田
神戸
桑名西
日生学園第一

よくある質問 Q & A

学部・学科構成

朱色が総合型選抜実施学科・コース

Q 総合型選抜と 学校推薦型選抜の違いは？

A 学校推薦型選抜は、指定された出願要件を満たし、学校長の推薦書が必要な選抜方式です。

これに対して、総合型選抜には学校長の推薦書は求められませんし、1校からの出願人数に制限はありません。本学のアドミッションポリシーなどの3つのポリシーを理解したうえで、「学ぶ意欲、将来に対する構想」を出願書類、面接等で直接アピールしてください。

Q 総合型選抜の 特徴・メリットは何ですか？

A 第1次・第2次選考を通じて、意欲、論理的な思考力・表現力に加えて、高校での学習履歴・基礎学力、課外活動など、高校での様々な経験を評価するのが特徴です。

また、本学の総合型選抜では合格発表後、Webによる入学前教育研修を行います。この研修では、入学センターの教員からアドバイスを得たり、同級生や先輩の学生と交流を持つことができます。入学前にこのような交流を持つことにより、スムーズな大学生活を迎えられることが大きなメリットとも言えます。

Q 過去の問題を閲覧、 入手することはできますか？

A 過去3年分の入試問題を入試課(鳥取キャンパス)、及び米子地区事務部学務課(米子キャンパス)で閲覧することが可能です(平日9:00~17:00)。ただし、問題文を撮影したり、コピーすることはできません。

また、入学試験情報ホームページで過去問題の公表(著作権者の許諾を得ない部分は除く)を行っています。

※農学部における、総合型選抜の閲覧可能物はありません。

Q 出願書類、 選抜方法とその内容は？

A 出願書類は、志望理由書、自己推薦書、調査書です。これら以外の資料(論文、写真、CD、DVD、USBメモリ)等は添付することができません。

選抜方法は、第1次選考と第2次選考により行います。このうち、第1次選考は、書類選考及び個人面接(15分)により行います。

第2次選考は、学部・コースにより異なります。詳しくは、本誌と7月中旬公表予定の総合型選抜学生募集要項でご確認ください。

Q なぜ、 入学前教育を行うのですか？

A 総合型選抜では、合格から入学まで、約5カ月の期間があります。

この間、学習習慣を継続させ、基礎学力が低下することがないように、「高等学校での学習」と「大学での学び」を接続するためです。

その内容は、宿泊を伴う研修、または、Webによる研修、自宅でのe-ラーニング、学部・学科指定のレポート提出等です。

Q 学生募集要項の 請求、情報の入手方法は？

A 総合型選抜学生募集要項は、7月中旬に入学試験情報ホームページで公表予定です。このガイドに記載されている日程や選考方法等は変更する場合がありますので、必ず募集要項でご確認ください。

なお、インターネット出願のため、紙の「募集要項・願書」は配布いたしません。

学部・学科に関する情報は、ホームページで掲載しているほか、オープンキャンパスに参加して、より詳しく情報収集することも可能です。

Q 資格・検定の取得、 コンテスト等はどう扱われますか？

A 総合型選抜は、資格・検定を取得したことや各種コンテスト入賞の有無を評価する選抜方式ではありません。しかし、その分野に関心や適性、能力があることを判断する材料となります。

資格取得やコンテスト入賞に至るプロセスなどを説明できるようにしておいてください。

また、本学では入学後に英語力を重視するため、英検、GTEC、TOEIC等を受検した方は、合格証の写しを出願書類に同封することとしています。

Q 他の入試(一般・推薦)との 関係、有利不利はありますか？

A 本学では、総合型選抜で不合格になった場合でも、その後の学校推薦型選抜(I・II)、一般選抜(前期日程・後期日程)に出願が可能です。不利になることはありません。(ただし、学校推薦型選抜、一般選抜では、総合型選抜とは異なる観点で評価を行います。)

また、入試方法によって、入学後のカリキュラムや卒業要件などの教育内容に違いはありません。本学の総合型選抜の入学者は、学生生活を積極的に行っており、各学科内、部活動、サークル活動でもリーダーシップを発揮しています。

地域学部 Faculty of Regional Sciences

地域学科地域創造コース
地域学科人間形成コース
地域学科国際地域文化コース

医学部 Faculty of Medicine

医学科
生命科学科
保健学科 看護学専攻
保健学科 検査技術科学専攻

工学部 Faculty of Engineering

機械物理系学科
電気情報系学科
化学バイオ系学科
社会システム土木系学科

農学部 Faculty of Agriculture

生命環境農学科
共同獣医学科

鳥取大学の情報を
調べるには

鳥取大学公式
ホームページ



鳥取大学
入学試験情報



鳥取大学
インターネット出願サイト



お問い合わせ
フォーム



発行元

鳥取大学入学センター

〒680-8550 鳥取市湖山町南4-101 TEL 0857-31-5554 FAX 0857-31-5569